



「やすらぎの時間」 詳しくは4ページに・・・



## CONTENTS

- ♥ 愛心メモリアル病院  
ニューフェイスのご紹介  
ボランティアさんからのメッセージ  
教えて!薬剤師さん
- ♥ 介護老人保健施設プラットホーム  
たかが送迎、されど送迎
- ♥ 来夢ライン  
やすらぎの オーラ漂う 来夢ライン
- ♥ ステーションあいしん  
おかげさまで10周年
- ♥ 愛心循環器クリニック  
いびきが大きい方は要注意! パート2
- ♥ ぱるすちゃんの投書箱  
お礼のお手紙
- ♥ インフォーメーション  
入院費の計算方法が変わりました
- ♥ 明治142年の生活  
急性心筋梗塞の治療法



 医療法人社団愛心館 ♥

愛心メモリアル病院 · 愛心循環器クリニック · 愛心内科・消化器科クリニック

訪問看護  
介護支援 ステーションあいしん · 介護老人保健施設プラットホーム · 来夢ライン 訪問看護ステーション  
療養通所介護事業所

# 二ユーフェイスのご紹介

2009年4月1日より、愛心メモリアル病院の組織体制は新しくなりました。院長に金岡、副院長に石井、看護部長に野中です。前回4月に発行したばるすでは、金岡院長にスポットライトを当てて、皆様にご紹介させていただきました。今回は、石井副院長と野中看護部長をご紹介させていただきます。

## 半年が経過して

4月1日より、北海道がんセンターから愛心メモリアル病院の副院長に就任しました石井です。早いもので、6ヶ月が経過しようとしています。小回りの効く病院で、物事がスピーディーに決定され展開。それが、気持ちいいと感じています。

さて、近年心臓血管領域の診断や治療法の進歩には著しいものがあります。患者様にとってより負担の少ない方法で最大限の結果が得られるように日々研鑽していくかなければと痛感しております。

当院では虚血性心疾患、弁膜症、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症などを主に扱っておりますが、動脈硬化症が背景にあります。動脈硬化症には高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、肥満、高尿酸血症などいわゆる生活習慣病が密接に関わっています。生活習慣病への対策が病気の予防には重要です。早期発見も大切ですが、大動脈瘤は一般に無症状のことが多く、消化器や呼吸器、泌尿器、婦人科の疾患で受診して偶然見つかるというケースがほとんどです。破裂する前に治療ができればかなり安全に手術可能ですが、破裂してからでは大出血して手遅れになってしまいます。

そこで当院では**大動脈・血管ドック**というものを立ち上げることにいたしました。外来でCT検査等を行い、早期発見に努めようというものです。興味のある方はお問い合わせください。

### 人物紹介

北海道七飯町出身。北海道大学医学部卒。北海道大学医学部附属病院、仏パリ大学アンリモンドール病院研究員。国立札幌病院を経て、2009年4月より愛心メモリアル病院勤務。これまでに冠動脈バイパス手術を中心に600例を超える心臓大血管手術を執刀。趣味は野球・プロレス観戦。休日はマイシアターラームでお酒を飲みながら映画や海外ドラマ鑑賞ともっぱらインドア派。しかしながら、思い立つとウッドデッキを作ったりと凝り性的一面もあり。

## こんな看護部にしたい



野中 浩美

愛心メモリアル病院に就職して、早いものでもう16年が過ぎました。病棟勤務が長かったのですが、その後、救急検査室・外来と異動し、この4月から看護部長を引き受けすることになりました。

患者さんやご家族の方からは、親身でやさしいというお言葉をいただける素敵な看護部だと自負しております(至らないところも多々あるのですが)。医療を取り巻く環境が大きく変化し、いろいろな制約も多い昨今ですが、そんな中でも**「安心とぬくもり」**を提供できる看護部であり続けたいと思っています。

当院をご利用いただいている患者さんやご家族の方が満足でき、これからも利用したいと思えるようなあたたかいお付き合いをさせていただける看護部を目指して、これからも職員一同頑張りますので、よろしくお願いします。

### 人物紹介

北海道岩見沢市出身。北海道大学医学部附属看護学校卒。北海道大学医学部附属病院、札幌肢体不自由児総合療育センター勤務を経て、1993年より愛心メモリアル病院勤務。趣味はスポーツ観戦・音楽鑑賞。頭の体操を兼ねてのゲームが結構好き。元々体育会系のせいか「いつも元気だね」とよく言われる。



いし い こう じ  
石井 浩二

# ボランティアさんからのメッセージ

前回の4月号では、愛心メモリアル病院で活躍している札幌市立大学看護学部の学生ボランティアについてご紹介しました。今回は、ボランティアさんからいただいた当院の印象と活動を通して感じたことについて、ご紹介します。



患者さんに優しい病院だと思います。「こここの看護師さんは本当に優しいです」という言葉を患者さんからもよく伺います。愛心メモリアル病院で働くスタッフの方々は皆心が温かく、安心できる病院だと思います。

4年間で出会った患者様一人一人が心に残っており、出会った方々に感謝しています。改めて素晴らしい仕事に就くことができることを嬉しく思います。ボランティアに参加できしたことへの感謝の気持ちとここで得た感動を忘れず、これからも患者様の気持ちに寄り添うことのできる素敵な看護師になりたいと思っています。

みうまいこ  
(三浦舞子さん)



スタッフの皆さんが明るくて、とてもあたたかい病院だと感じています。看護師さんの方々は、忙しい中でも私達ボランティアに優しく接して下さり、多くのことを教えて下さるので本当に感謝しています。

今まで活動をしてきて本当によかったです。患者さんの生き方や考え方を通して学んだり、「こんな看護師になってね」と応援のメッセージを頂くことで勇気をもらうこともあります。楽しいボランティアの時間を過ごさせてもらっています。

はた や はる な  
(幡谷春奈さん)

患者様とスタッフとの仲の良さを感じます。なれなれしいという訳ではなく、節度のある、話しやすい雰囲気は愛心メモリアル病院ならではだと感じます。

患者様は皆さん入院して、不安や不調を感じていると思うのですが、ボランティアの私たちに対し、「頑張って」と声をかけてくれ、逆に励まされたり、元気をもらうことが多くありました。患者様と触れ合って、どんなときにも人に優しくできるようになりたいと思いました。

せんぱあきこ  
(仙波明子さん)



ボランティア活動を通して患者さんから、病気に対するお気持ちをたくさん聞かせていただきました。それは、私がこれから看護師として働いていく上で、何を大切にすべきかを考える大きな役割を担っていたと思います。

ボランティア活動での経験を活かし、これからは看護師として地域の方々の健康増進に努めていけるよう頑張りたいと思います。

あんどう ゆきこ  
(安藤祐貴子さん)



## 教えて! 薬剤師さん

第1回目は、糖尿病治療薬のインスリン。普段使用しているインスリンで、「こういう時はどうすればいいの?」と困ったことはありませんか。

そこで、今回患者様からよくある質問についてお答えします。

### Q1: 低血糖症状とは?

A: 発汗、手足のふるえ、動悸、不安感、吐き気、空腹感、脱力、頭痛、集中力の低下などといった症状が起こります。

### Q2: 低血糖症状の対処方法は?

A: 低血糖症状を感じたらすぐ、ブドウ糖を10~20g、またはブドウ糖を含むジュースや飲料水を飲んでください。10~20分で症状が治まらなかったら、もう一度補給してください。

### Q3: 食欲がなく食事ができないときは?

A: いつも通りの単位数を打つと低血糖になってしまふおそれがありますが、食事がとれていなくても自己判断でインスリン注射を中断せず、まずは病院にご連絡ください。

皆様に薬剤師からのメッセージをお伝えするコーナーです



### Q4: 未使用のインスリンの保存方法は?

A: 冷蔵庫に保管しましょう。このとき、凍結しないように注意してください。一度凍結したインスリンは使用できません。

### Q5: 使用中のインスリンの保存方法は?

A: 開封してから4週間は室温で問題ありません。ただし、直射日光の当たるところ、自動車内等の高温になるおそれのあるところには置かないようにして下さい。

お薬に関する質問、疑問点等がありましたら、お気軽に薬剤師にご相談下さい。

## 愛心メモリアル病院

Tel.011-752-3535 Fax.011-752-1058  
〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15

# たかが送迎、されど送迎

現在、当施設には4台の送迎車があります。デイケアをご利用の皆様をお迎えにあがるスケジュールを組むのは、なかなかパズルの様な難しさがあります。今回は、そんな運行管理の苦労話をお伝えしたいと思います。

【送迎車の座席数】

車両	シート数	車椅子数	合計人数
1号車	6席	1台	7名
2号車	6席	1台	7名
3号車	6席	1台	7名
4号車	5席	2台	7名
合 計	23席	5台	28名



送迎方面だけでスケジュールが決まれば、まだ簡単なのですが、ここに車椅子の要素や送迎にかかる時間（ご利用者様の負担を考えると、乗車している時間は長くても1時間程度に留めたい）といった条件が加わります。結果として4台の車で可能な1日あたりの送迎人数は、今のところ、30～32人程度となっております。

デイケアのご利用者様も本年の5月頃より順調に増えてまいりました。従来からご利用の方をはじめ、皆様には送迎時間が長くなってしまい、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解いただけますようお願いします。

皆様からのご紹介等によってご利用者様が増えますと、送迎車を増やすニーズが出てまいります。台数を増やすことで、送迎の数だけでなく、送迎の質も向上できるでしょう。

これをお読みの皆様の中で、デイケアのご利用を検討されている方、もしくは既にご利用の皆様の中でご近所の方、ご友人をお誘いになりたい方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問合せ下さい。

皆様からのご紹介をお待ち申しあげます。

## ～ご連絡・お問合せ先～

見学や体験利用も受付けております。まずはお電話を!!

介護老人保健施設プラットホーム 支援相談員（若狭・角川）  
TEL：011-776-3037（※日・祝はお休みをいただいております）

## 介護老人保健施設プラットホーム

Tel.011-776-3037 Fax.011-776-3039  
〒002-8072 札幌市北区あいの里2条1丁目20-1

まずは、左表を見て下さい。1台の送迎車で1回あたり7名のご利用者様を送迎できます。各車が2往復すると1日あたり、7名×4台×2往復=56名のご利用者様を送迎できることになります。理論上は、50名定員の当施設のデイケアでは、4台の送迎車で充分間に合う事になります。

しかしながら、送迎には運転手1名の他に、介助スタッフ1名が同乗しておりますので、1台あたり6名の送迎となり、1日あたり最大で48名のご利用様の送迎となります。

当施設は送迎エリアが北区、東区、石狩方面、当別方面と各方面に散らばっております。また、同じ北区でも、あいの里近辺の方もいらっしゃれば、新川方面の方もいらっしゃいます。ですから、例えば、新川方面の方であれば石狩方面と組み合わせたり、石狩方面の方のご利用がない曜日であれば、新琴似近郊の方と組み合わせたりと、札幌市の広域図と毎日にらめっこしております。

できるだけロスの少ない組み合わせで、かつ、「どうしたら、ご利用者様を快適に送迎できるか」を目指して、寝る間も惜しんで日々奮闘しております（笑）



# やすらぎの オーラ漂う 来夢ライン

らい む

前回のばるすでは、「療養通所介護サービス」の概略をご説明いたしました。今回は、その1日体験記です。体験したのは、このばるすの編集担当者です。なお、実際は3人の方とかかわりましたが、おひとりの利用者の方に視点をあてて記載しております。

プロローグ



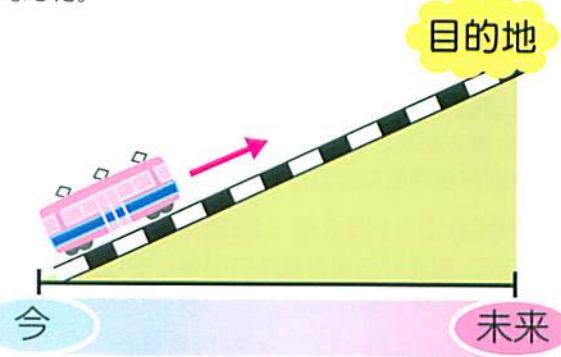
今日は10月1日(木)。1日来夢ライン体験の日です。初めてのことなので、ちょっとばかり緊張しています。でも、こんな時は、「虎穴に入らずんば虎子を得ず」を唱えて、自分を励ましています。



朝8時50分に来夢ラインに到着。スタッフの方には、「あたたかく」迎えてもらいました。虎ではなかったです。9時から打ち合わせの開始。その後、森所長から、本日の利用者の方々の説明がありました。病気の状態だけでなく、「利用者の方やそのご家族が、これからどんな生活を望んでいるのか」とても強調して説明していました。

そういえば、来夢ラインの名前の由来は、利用者の夢や希望とい

う目的地に、どうすれば辿り着くのかと一緒に考えながら、まずは線路を引く。そして、その線路の上を、来夢ラインという列車が、プラットホームから発車するというところから来ていたはずだ。目的地不明のミステリー列車よりも、目的地がはっきりしている列車は、「安心」して乗れますよね。なるほど、この朝のミーティングでは、その目的地をスタッフ間で共有しているのだなと感じました。とっても大切なことですよね。



9時30分。送迎車に乗りこんで利用者の方をお迎えに行きました。利用者宅に到着。ちょっと緊張している自分がいました。スタッフは血圧、脈拍や体温をチェックしたり、ご家族から調子などを聞いていました。10時15分に来夢ラインに到着。ここまでただの見学状態。

さて、これから実際に体験したお話しです。利用者の方の了解を得て、お風呂をお手伝いしました。寝たままで入れる特別なお風呂です。

両手に軍手をはめて、そこにボディーシャンプーをつけて洗いました。私は足を担当。ただ洗うだけではなく、手でマッサージをする意味があるそうです。利用者の方は、気持ちよさそうに「ウトウト」と眠っているようでした。ベッドに戻り、全身にクリームを塗りました。利用者の方は、「さっぱり」した顔をして、ベッドで「ゆっくり」と過ごされました。

ここでちょっと一息いれる時間があり、通所サービスのお部屋を改めて眺めてみました。なんか、「ゆったり」とした時間が流れている気がします。スタッフの方々がゆったりしているからでしょうか。自分でも、なぜそう感じたのかわかりませんが、いい空間の流れを感じました。「ほんわか」しているとでも表現したら、わかるかもしれません。



午後は、スタッフの方が、フットケアや口の中をきれいにするケアを実施。その後、車椅子で来夢ライン周辺の散歩です。ここでは、車椅子を押すことをお手伝い。その散歩で絶景のポイントをスタッフの方から教えてもらいました。右の写真を見て下さい。遠くにサイロが三つ見えます。札幌とは思えない「心あたたまる & ほのぼの」した風景でした。とてもいい感じでしたので、この写真を表紙にしました。



帰りの送迎車を待っている間、利用者の方は、車椅子に座りながら音楽鑑賞。BGMは「中島みゆき」です。といえば、朝は「アリス」、午後は「井上陽水」でした。スタッフの方のちょっとした「心遣い」ですね。17時頃に出発。西の空はもう夕焼けというより薄暗い状態でした。



来夢ラインに戻ると、外はもう真っ暗。1日が終ったことが暗さで実感できました。皆様、今日1日、どうもありがとうございました。貴重な体験をすることができました。私の来夢ラインに対する印象は、冒頭にあるタイトルのとおりです。(西村智嘉男)

らい む  
来夢ライン

療養通所介護事業所 Tel. 011-776-3555  
Fax. 011-776-3072

訪問看護ステーション Tel. 011-776-3071  
Fax. 011-776-3072

〒002-8072 札幌市北区あいの里2条1丁目20-1

# おかげさまで10周年

皆様からの温かい支えによって、訪問看護・介護支援ステーションあいしんは、今年の2月で設立してから10年が経過しました。そこで、今一度ここで立ち止まってみて、この10年間を振り返ってみようと思います。

## ●1999年2月1日 訪問看護ステーションあいしんの設立。

愛心メモリアル病院に通院されている患者様だけでなく、在宅医療を必要とされている方であれば、どなたでもご利用できるようにと、愛心メモリアル病院から独立し、「訪問看護ステーションあいしん」がスタートしました。

設立当初、人員は3名、営業エリアは札幌市全区が対象でした。事務所は、愛心メモリアル病院新館ができる前にあったメゾン和光というアパートの一室を借りていました。

オープン初日に他病院より、訪問看護の依頼が電話であったときには、本当にうれしくて、急いで書類を準備していたことを覚えております。



現在のステーションあいしん

## ●2000年4月1日 介護支援ステーションあいしんを併設。

介護保険制度制定に伴い、訪問看護師は介護支援専門員の資格を取得しました。訪問看護ステーションの人員は最低2.5人、介護支援ステーションの人員は最低1名は必要なため、スタッフを1名増員し4名としました。訪問看護は医療保険制度と介護保険制度の二分された形で提供されることになりました。

## ●2000年11月3日 事務所の引越(右写真を参照)

メゾン和光から現事務所に引越しをしました。広さも十分、日当たり良好で、快適に過ごせるようになりました。



引越後の記念撮影

## ●2001年9月1日 人員は5名に

スタッフは5名になりました。ステーション開設前に病院の訪問看護室で働いていた時の看護師5名すべてが、ステーションに移行されました。

## ●2006年9月～ 満足度調査の開始

利用者様に、当ステーションを利用しての満足度調査を開始しました。3年間実施しました。

## ●2006年10月1日 人員の移動

法人の新事業に伴い、愛心メモリアル病院地域医療部の訪問看護業務と人員をステーションあいしんに移行しました。

## ●2006年11月1日 所長の交替

所長が、山下美智子(現、介護老人保健施設プラットホーム副施設長)から、現在の伊藤亜美に交替となりました。

## ●2008年4月1日 営業エリアを変更

開設当初は札幌市全区を対象としておりましたが、現在、札幌には80箇所以上、各区に訪問看護ステーションがあります。当ステーションあいしんも地域に密着した形で対応するため、札幌市北区、東区を営業エリアとしました。もちろん、他の区にお住まいの方でも応相談としております。

## ちょっとした自慢



5名の職員はすべて常勤。なおかつ、訪問看護業務と居宅介護支援業務を全員が兼務しています。

&

将来の看護師育成のために、学生実習を積極的に受け入れています。今年度は7校を受け入れました。

訪問看護  
介護支援  
ステーションあいしん

Tel. 011-752-3540 Fax. 011-748-8771  
〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-14  
加藤ビル3階

入退院を繰り返している方、家で過ごしたいけれど病気や療養生活に不安がある方、最後の時を家で過ごしたい方、介護への不安がある方など、当ステーションでは看護師が利用者様を受け持ち、利用者様と一緒に考えながら療養生活のお手伝いをしております。  
ご利用をお考えの方はお気軽にご相談ください。(伊藤 亜美)

# いびきが大きい方は要注意！パート2

今回も、前回に引き続き、「睡眠時無呼吸症候群 (Sleep-Apnea-Syndrome=通称SAS)」についてのお話です。前回、日本人(アジア系民族)は、顎が小さく首が短い骨格のために、元々SASになりやすいと言われており、意外と身近にある病気だということをお話ししました。

今回は、SASが身体にどんな影響を与えるのかについて、お話ししていきます。最近の研究では、特に循環・呼吸系(心臓や肺、高血圧や不整脈など)や中枢神経系(脳や神経、精神疾患など)への悪影響があることがわかってきました。さらに、糖尿病の発生自体にも影響を与え、最終的には生命予後にまでかかわってくるという恐ろしい報告まで発表されました。

それは、なぜか。私たちの睡眠は、夢を見ている時などの浅い睡眠(レム睡眠)と安らかな眠りと言われる深い睡眠(ノンレム睡眠)に分けられます。この2種類の睡眠状態が約90分間のサイクルで現れ、肉体的及び精神的な身体のリセットをします。

しかし、SASがあると、呼吸をしない訳ですから、血中の酸素不足が起こり、体内に一生懸命酸素を取り込もうとして、呼吸運動をするように脳が指令を出します。寝ていても、「脳が起きている」状態なので、十分な睡眠が取れません。

体内に酸素が取り込めない時は、二酸化炭素が体内に溜まります。これにより体内の血液が酸性化してしまい、不整脈を引き起こす率が高くなります。また、血液の酸性化により、肺の血管や体内の血管が収縮しますので、高血圧を引き起します。

夜間の断続的な覚醒により、睡眠不足になるので、日中は傾眠状態になり、性格が変わってしまったり、抑うつ的な状態になったり、忘れっぽくなるなど知能自体が低下することが知られています。

	SAS	
	ある	ない
高血圧	2.89	1
虚血性心疾患	致命的	1
	致命的でない	3.17

また、最近の報告で、SASの有無によって、上記の表のように、高血圧、虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)については、肥満・体型・年齢・性別・アルコールや喫煙の嗜好を考慮しても、発生リスクが高いことが報告されています。



さらに、中等度以上のSAS患者の累積生存率は、9年間で明らかに低下する事が報告されました。なんだか、すいぶん怖い話になってしまいましたが、適切な治療を行うことによって、この生命予後は改善されます。

まずは、知る事が大切です。「いびきがとても大きい」、「いくら眠っても眠り足りない」などの気になる症状がありましたら、当クリニックにご相談下さい。

なお、7月より、愛心メモリアル病院でも検査・治療ができるようになりました。お気軽にご相談下さい。

## 愛心循環器クリニック

Tel. 011-209-5250 Fax. 011-209-5432

## 愛心内科・消化器科クリニック

Tel. 011-209-5265 Fax. 011-209-5427

〒060-8503 札幌市中央区北5条西2丁目  
JRタワーオフィスプラザさっぽろ8階



## ぱるすちゃんの投書箱

### 今回の投書

#### 今回の投書は、お礼のお手紙です

心臓カテーテル検査で一泊二日入院しました。適切な処置をしていただき感謝いたします。看護師の方々の大変親切な手当もありがとうございます。安心して全てを皆さんに委ね、不安もなく過ごすことができました。

食事の方もおいしく、ゆき届いたメニューと内容も満足しております。特別な紹介もなく、こちらの病院で入院することになりましたが、結果としてとても満足いたしております。ありがとうございました。

### 回答

投書をいただきありがとうございます。食事についてですが、当院の食事は、外部の給食業者に委託せず、当院の職員である調理師が心を込めて作っております。また、市場での新鮮な魚介類を独自に仕入れて患者様に提供しております。レストランや食堂とは違い、病院では決められたカロリーや塩分で調理しなければなりません。そのような制限がある中、いかに美味しい楽しい食事を提供できるかを目標にしております。「食べること」は、すなわち「生きること」と題し、薬や処置以外にも食事で元気になれるよう厨房職員一丸となって日々調理している次第です。当院に入院された際には、食事についても一目おいていただきたいと思います。



ひな祭りの時のお食事

# インフォメーション

愛心メモリアル病院での  
入院費の計算方法が変わりました

## DPC (Diagnosis Procedure Combination)

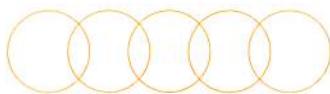
このDPCとは日本版診断群分類の略称で、この診断群分類を入院医療費の支払いに適用したものを言います。今までの計算方法は「出来高制」と言い、入院に要した日数と治療を行った分だけ医療費は掛かります。DPCは病気により1日の医療費が決められていますので、入院中に行った投薬や注射などはDPCの金額に含まれています。よって高額な薬剤を使用した場合と安価な薬剤を使用した場合でも、医療費は変わりません。

病気によって1日の医療費が決められておりますが、どの疾患も同じ金額ではございません。これは厚生労働省が全国のデータを集めて決定しておりますので、重症度が高い疾患は1日の医療費は高く設定されています。また、1日の金額は入院期間を通して一定ではなく、疾患により入院期間が長くなるほど金額は漸減されていく仕組みです。この漸減されるルールによりDPCを導入した医療機関の平均在院日数は、短縮したことが報告されております。

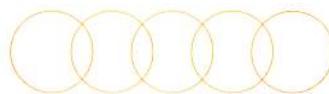
こうした平均在院日数短縮の背景には、単純に病院の収入に重点をおいたものではなく、効率の良い安全な医療を提供することが必要であるとの考え方からあります。DPC対象病院は改革に着手し、平均在院日数の短縮という結果を生み出しました。

患者様の自己負担もこのDPCの医療費計算に基づいて算出されます。治療を行った分だけ自己負担額が増す出来高制の仕組みより、疾患で定められた入院期間で自己負担が変動するDPCの方が、わかり易く明瞭な計算方法と考えられます。

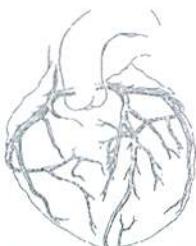
この度、当院では平成21年7月1日よりDPC対象病院となりました。**患者様には当院以外で処方されているお薬を入院前にご用意していただくななどのお願いが何点かございますが、何卒、ご協力ご理解の程、宜しくお願ひ申し上げます。**



## 明治142年の生活 ~第4話~



今年は平成21年ですが、明治が続いたら明治142年です。今の生活では当たり前のことであっても、ずっと昔からあたり前であったのかどうかを皆様に問いかけるコーナーです。



### 急性心筋梗塞の治療法

今回は急性心筋梗塞についてです。急性心筋梗塞は、心臓に栄養や酸素を供給している冠動脈(かんどうみゃく)が詰まってしまう病気です。余談ですが、心臓に冠(かんむり)をかぶせたような感じなので、冠動脈というのだろうと自分自身で勝手に解釈しています。

さて、詰まった先には血液が行かないで、栄養や酸素が補給されません。それは、たいへんな緊急事態の発生。身体は強烈な痛みとして、警報を発令します。急性心筋梗塞の痛みは、それはそれはすごいそうです。放置すると死に至る可能性があります。急いで血液が再度流れるようにしなくてはいけません。でも、どうやって。

現在は、太ももや腕の血管から、カテーテルという細く長い管を冠動脈のところまで、医師が操作して進めます。管の先端には風船がついています。詰まった所にきたら、膨らまして血管を押し広げ、血流を再開させます。

では、昔はどのように治療していたのか。以下は、長山雅俊著「心臓が危ない」祥伝社新書のP221を要約したもののです。

「昭和60年代初頭は、風船で広げたりするような治療をすることはできませんでした。そこで、何をするのかというと、心臓の負担が少しでも減るように点滴の薬を使ったり、起こりうる合併症を予測し、早め早めの対応。そして壊死に陥った心筋が修復するのを待つわけです。そのため、重症になることが多く、もっとも恐ろしい合併症である心破裂も年に1~2例は経験しました」

昭和60年代初頭は、明治120年くらいの時期です。約20年の違いですが、急性心筋梗塞に対する治療法は、こんなにも進歩したのです。改めて、医学の進歩、明治142年に感謝します。(西村智嘉男)

るばす俱楽部

「友愛の心」

略して、愛心と言います

— ○○メモリアル病院

(鳩ぼっぽ)

### 編集後記

2009年8月30日に開催された2009北海道マラソン。走りました。真夏の大会に似合はず、天気はくもりで気温は23度くらいだったので、走りやすいコンディションでした。

最初は、ゆっくりと走り、途中からベースアップするつもりでしたが、身体が思うように反応してくれません。どんどん自分がイメージするペースから外れていき、完走すら危うくなっていました。制限時間の閑門をクリアすることで精一杯。北海道大学のキャンパス内に40キロの閑門がありました。そこを閉鎖3分前に通過。これで最後かと思ったら、旧北海道庁内の41.6キロが最終閑門。子どもに完走することを約束していたので、こん身の力を振り絞って走り続けました。大通り公園に入り、ゴールが見えた時、完走を確信しました。その安堵感のなんと素晴らしいことか。自宅で飲んだビールは、それはそれは格別。来年も、飛びっきりうまいビールを飲むために、走り続けようと思っています。(N)

### 医療法人社団 愛心館

〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15

TEL (011) 752-3535

FAX (011) 752-1058

E-mail info@aishinkan.jp

URL http://www.aishinkan.jp

発行／医療法人社団 愛心館

発行日／平成21年10月29日

編集／経営企画部 西村智嘉男、西川万里子

発行責任者／高橋 順一郎